あすみんが発信するNPOやボランティア活動を
はじめとする様々な市民公益活動の情報誌

「明日の市民」の思いをこめて

あすみんノート
2015.5.31

Asumin Note 3

information magazine

KEYWORD

質にこだわり、少しずつ社会に拡げる

- 伝えたいヒトコト：NPO法人ミディエイド
- 明日の共働を考える：行政とNPOとの共働
- あすみんオススメ事業：NPOかばんもち
- 共働のトビラ：地域とNPOでひらいてみる新しい可能性
- ステップアップ講座：交流会やPRイベントに参加しよう
- あすみん美術館：「クジャク・きのこ・コブラ」西原隆善さん作
- 新規登録団体：2014.10〜2015.3（44団体）

2015（平成27）年5月31日発行　［編集・発行］福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」

INTERVIEW

伝えたい ヒトコト

福岡市内の注目したい活動を行う
NPO・ボランティア団体を訪問。
キーパーソンとなる方に、
話をうかがい、活動のヒントを
みなさまにご紹介します。

NPO 法人 ミディエイド

代表理事
今村晃章さん(いまむら・てるあき)

01

02

03

実感をもとに、関係をつくる仕事

－活動内容は？

「NPO・ボランティア団体の相談支援やそういった支援活動に携わるコーディネーターの育成などを含めて『中間支援』に取り組んでいます。中間支援という概念は非常に幅広いのですが、私たちはNPO・ボランティア、行政、企業、自治会、学校など多様な主体が、社会課題・地域課題の解決など、同じ目的に向かって公益的な活動をするときに、主体の間をつないだり、調整したり、対等な関係をつくったりする活動をしています。また、その過程の中で『形にする』『気づいてもらう』といった役割なども担っています。」

－中間支援に興味を持ったキッカケは？

「2002年にはじめてボランティア活動をしました。NPOの仕事に就く前、福祉施設で働いていた頃から、仕事のかたわら、福祉、環境、国際協力、防災など色んな活動に参加してきました。その中で、活動の現状を見たり、団体運営のお悩みを聞くことができました。いろんな話を聞くうち、『同じようなことで悩んでいるんだな』と気づいたんです。当時は、NPO・ボランティアの学習機会や相談窓口なども多くありませんでしたので、もしかするとニーズがあるかもと感じたんです。それが、今の活動の始まりかもしれません。」

－NPO法人ミディエイドの立上げ

「2005年、久留米市の市民活動サポートセンター『みんくる』がオープンする時、ボランティアコーディネーターという仕事に挑戦したいと思い、働く機会をいただきました。3年間くらい働いた後、今度は福岡県NPO・ボランティアセンターの相談員として来ないかと話をいただき、勤務させていただくことになりました。ただ当時はNPO関係の相談を受けられる人は少ないが、相談は多いという状態で、大変な思いをした覚えがあります。そういったこともあり、その相談業務に約5年携わる中で、『少しずつでも同じ活動に取り組んでくれる仲間をもっと増やしたい』と思うようになりました。そこで、仲間と共に福岡を拠点に中間支援活動をするミディエイドを立上げました。」

－団体の特徴は？

「ミディエイドで活動を始めてからは、NPOの支援のみではなく『多様な主体による課題解決を支える』中間支援を意識しています。それから、公設の市民活動支援センターの職員や、ボランティアコーディネーターの人材育成にも取り組むようになりました。人材育成とは言っても、実際の感覚としては当初のきっかけのような『仲間づくり』に近いのですが。また特徴として、メンバー全員がどこかのNPOに属すか、活動のフィールドを持っています。支援センターの職員は、活動・運営に関する相談や、やってみたい方へのアドバイスなど、幅広い視点で対応を求められます。だからこそ、活動者の気持ちや苦労が、感覚としてわかる人間であることがとても大切だと思います。NPO法人の仕組みなどの知識は勉強次第であとから入ってきますが、机上では教えることが難しい『肌感覚』は、自らの体験でしか得られませんからね。」

質にこだわり、着実に。

－活動を拡げたいNPOに必要となる力

「着実に事業を実施しながら、その『質』や『専門性』にこだわってほしいです。少しずつ社会に認知してもらい、共感してもらう、そうして拡げていく。地道で時間もかかるので面倒に思うかもしれませんが、大事なポイントです。活動がイベント的になりやすい団体さんもいると思いますが、連発せずに、質にこだわり、狙って動く。社会のニーズに応えながら進めば、団体の影響力・活動の拡がりが出て、いずれは『社会の仕組みを変える』というところまで、つながるのかなと思います。」

団体情報

2014年3月設立。福岡県NPO・ボランティアセンターの相談業務や志免町まちづくり支援室の運営を担うほか、中間支援に携わる人材の発掘・育成などの活動を展開している。

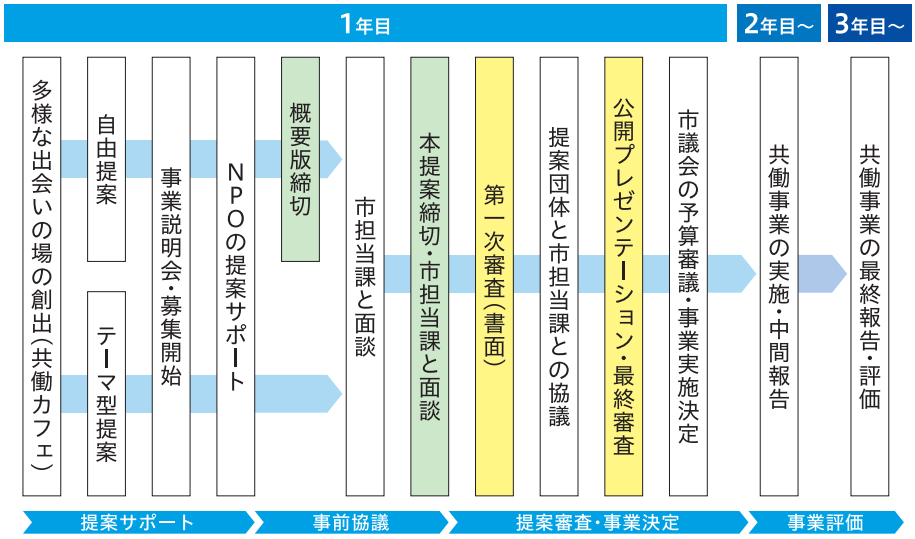
【MAIL】npomidiaid@gmail.com
【HP】http://midiaid.org

01 団体からの相談に丁寧に対応する
02 ボランティアセンターの運営を担う
03 NPOのマネジメントに関する講義

COPRODUCTION COLUMN

明日の共働を考える

共働には、さまざまな姿があります。
福岡がもっとよくなる共働とは？
その最前線にいる方々に、
共働をテーマにした執筆をお願いします。



01

行政と NPO との共働

執筆者
井上雅美さん（いのうえ・まさみ）

福岡市 市民局
市民公益活動推進課

01　福岡市共働事業提案制度の流れ
02　「不登校の悩み語り合いませんか」の様子

互いの強みを活かす「共働」

行政とNPOとの共働をイメージした時、委託契約に基づく形、行政が補助金や助成金を交付する形、行政が施策を進めていく上でNPOの専門的な知見からアドバイスをいただく形など、さまざまな共働の形が思い浮かびます。

今回ご紹介する「福岡市共働事業提案制度」は、共働のもう一つの形です。福岡市で平成15年に策定された「第8次福岡市基本計画」において「あらゆる主体が適切な役割分担とパートナーシップのもとで『共働』する市民自治の実現をめざす」と明記されました。

この潮流が大きくなり、「行政とNPOが単独ではなく、それぞれの強みを最大限発揮し、社会課題の解決を目指す仕組み」をつくるべく、平成20年に「福岡市共働事業提案制度」が生まれました。

02

この制度は、NPOより専門性を活かした企画提案を募集し、審査・採択された事業について、NPOと福岡市（各担当課）で手を組み、共に汗して取り組むものです。双方で実行委員会を組織し、事業の企画段階から対等な立場で協議・調整を行いながら、両者の強みを最大限に発揮し、市民に対するきめ細かいサービス提供や、社会課題の解決を目指しています。

共働事業提案制度の特色

事業採択を決める提案プレゼンテーションは公開で行い、評価されます。採択された事業は、提案の翌年度からスタートし、市が総事業費の5分の4以内を負担します。そのほか、この制度には大きく3つの特色があります。

①「対等」な立場で取り組む
委託や補助とは異なり、NPOと行政の双方が、知恵も力もお金も出し合う、対等な立場で事業に取り組みます。
②「対話」を大切にする
課題解決を図るため、お互いを理解し、課題を共有することが重要です。事業開始前から対話を重ね、信頼関係を築きます。
③「じっくり」育てる
提案開始時から事業開始まで、およそ1年の期間があります。担当課との対話を通し、よりニーズの高い事業へとブラッシュアップして、事業がスタートします。

「親近感」と「信頼感」

平成24～26年度に実施された「NPOとの共働による不登校児童生徒の保護者支援事業（不登校よりそいネット）」は、日頃から不登校者支援の活動に取り組む不登校サポートネット（NPO団体）と教育委員会生涯学習課の共働事業です。

学校を中心に不登校児童生徒に対する支援が進められる一方で、遅れている保護者への支援・働きかけを主な目的としました。具体的には、「不登校ほっとライン」という電話相談窓口の開設や、不登校理解のための啓発・研修活動、NPOや行政各部署38団体の新たなネットワークの構築などを行いました。

NPOチームが事業の企画・運営を進め、行政は広報や関連部署への連絡調整などでサポートをします。また、適宜話し合いを重ね、多様な主体が同じテーブルで、同じ目的を共有し、協力する体制が実現しました。実際に開催したフォーラムでは不登校を経験した保護者や若者の体験談発表などもあり、「これまで、育て方が悪いと責められ苦しかったが、初めて自分のことを認めてもらえたようで前に進めそう」との声も聞かれました。当事者となる保護者層にとっても、こうした「NPOの親近感」と「行政の信頼感」が相まって、これまでにない安心できるサポートができたというイメージが広がったようです。

何といっても「対話」

共働の形は色々ありますが、それぞれの強みや弱みを補完し合い、相乗効果を発揮した取組みとするためには、「対等」な関係を築くことがポイントとなります。そのためには「対話」を重ね、お互いのことを知り、納得いくまでとことん話し合うことも必要です。

また、福岡市では毎年２月に、多様なパートナーとの出会いの場として「共働カフェ」を開催しています。「組織」と「組織」ではなく、「ひと」と「ひと」として出会い、共働のタネを探してみませんか？

今一歩、NPOと行政の共働にイメージが湧かない…という方は、ぜひ6月15日（月）に福岡市健康づくりサポートセンターあいれふにて開催する予定の「共働事業提案制度 最終報告会」にお越しください。共働事業により生まれた成果を聞き、きっと「なるほど」と思っていただけるはずです。

ASUMIN RECOMMEND

あすみん オススメ事業

あすみんにはみなさんが参加できる
さまざまな事業があります。
ここでは、その中でも
旬な事業をお伝えします。

NPOの現場を知りたい 学生さん大募集！

NPO かばんもち

事業のスケジュール

6月12日(金)19:00～	プログラム説明会
7月中	事前研修会
8～9月中	NPOかばんもち実施期間
10月16日(金)	参加者報告会

〔受入団体〕NPO法人アカツキ／NPO法人エスタスカーサ／(特活)NGO福岡ネットワーク／(一財)カンボジア地雷撤去キャンペーン／(特活)グリーンシティ福岡／NPO法人循環生活研究所／NPO法人食育推進ネットワーク福岡／NPO法人ドネルモ／NPO法人ミディエイド

01　かばんもち当日。活動現場にて密着行動
02　最終報告会にて学びを発表、交流を深める

肌感覚で学ぶ、NPOの仕事

「NPOかばんもち」は、学生さん向けのインターンシッププログラムです。しかし、いわゆるインターンシップとは一味違う特徴があります。それは、団体の代表やコアメンバーとして働く人への「ジョブシャドウ」を目的としていることです。仕事をしている人に「影」のように寄り添い、その人の様子を一番近くで観察するジョブシャドウだからこそ、NPOの現場・仕事を肌で感じることができます。

今年度の受け入れ先となるNPOは全部で９団体です。国際協力、環境、福祉、NPO中間支援など、その分野も多岐にわたります(詳細はホームページで紹介中)。昨年度参加者の感想では、「さまざまな価値観に触れ、視野を広げることができた」「NPOへの印象が変わった。社会貢献が全てでなく、仕事なんだと気付いた」といった内容が挙がり、新たな気づきが生まれたり、学生たちの職業観の変化が見られました。

NPOへのインターンシップやジョブシャドウは社会的にもまだまだ珍しく、貴重な機会です。やる気のある(あるいはこれから進む道を迷っている)学生さんは、ぜひこのチャンスをご活用ください。まずは6月12日(金)に開催する「プログラム説明会」でお会いしましょう。(要予約)

ボランティアへの参加をきっかけに

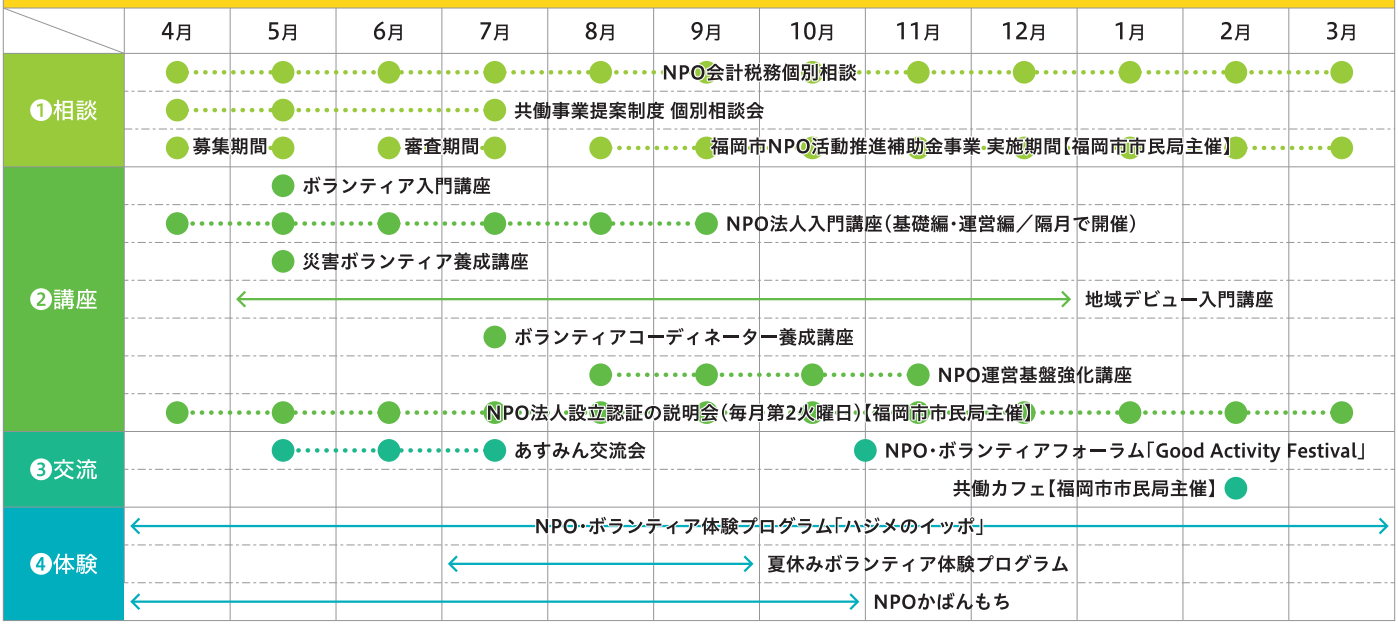
あすみんでは、ボランティア活動の体験受け入れも行っています。プログラム「ハジメのイッポ」では、あなたの初めてのボランティア参加をサポートしています。今年度は28のメニューがあり、気になる分野や活動内容、お住まいのエリアから参加する活動をお選びいただけます。NPOやボランティアの活動がどんなものなのか、まずは体を動かして体験してみたいという方にオススメです。この体験をきっかけに、継続的に活動に参加したり、団体に属した方もいらっしゃいます。

このプログラムは一年を通して、受け入れをしています。そして、学生さんだけではなく、老若男女みなさまにご参加いただけますので、気になる方はお気軽に窓口までお尋ねください。

01

02

あすみんの2015年度事業（詳細な日程・内容は、あすみんにてお尋ねください）



THE DOOR OF COPRODUCTION

共働のトビラ

地域とNPOの共働のはじまりを応援する冊子ができました。地域課題の解決に向けてアイデアを探しているという方、ご活用ください。

地域とNPOでひらいてみる新しい可能性

ダウンロードページ

www.fnvc.jp/use/pdf/kyododoor_201502.pdf

01　地域とNPOの共働実例を紹介
02　地域向け共働メニュー（講座・WS）を掲載

「共働」で地域課題解決に取り組む

自治会活動など地域をより良くする活動をしている地域のみなさんに向けて、冊子「共働のトビラ」を作成しました。多様化する「地域課題」の解決に取り組む時、専門性を持つ「NPO」と共に活動することで、解決の糸口がつかめたり、具体的な活動が始まるきっかけとなります。しかし、「やってみたいけど、接点がない…」といったお悩みや「共働ってなんだか面倒そうだし、メリットあるのかな？」といったご意見も耳にします。

この冊子は、そんなニーズに対応するべく、①NPOとの共働のメリットやポイント紹介、②すでに実施されている地域とNPOの共働事例紹介、③NPOが実施する地域向けの講座やワークショップのメニュー紹介という３部構成で展開しています。メニューについては、内容だけでなく、対象やかかる時間・費用、事前に必要な準備など、依頼する時に気になるポイントも、しっかり記載しています。

新しい出会いで、新しい可能性を

この冊子は、地域とNPOの新しいつながりが生まれ、共働のまちづくりが始まるきっかけとなることが目的です。あすみんホームページから、自由に内容を閲覧できますので、ぜひご活用ください。

また、「公民館や自治会を対象にしたプログラムがある」というNPOの皆さん、情報をお待ちしています。

01

02

STEP UP

ステップアップ講座

団体のステップアップにつながるツールや機会の活用法をご紹介。上手に活用して、今日からひとつスキルアップしてみましょう。

交流会やPRイベントに参加しよう

01　交流会から新規事業がはじまったことも
02　Good Activity Festival での活動PR

団体同士の交流で活動の幅を広げる

あすみんでは、登録団体向けの交流会を開催しています。交流会に参加してみると、他団体とのつながりができたり、共働プロジェクトのきっかけが生まれたり、事業のアイデアが湧いたり…きっと新たなチャンスが見つかるはずです。

昨年度は、あすみんでの交流会をきっかけに、５つの団体が手を組み、高齢者の孤立化問題に取り組むことになりました。そして話合いを重ね、誰もが寄りあえるシニア向けの「一日カフェ」を発案し、共感を得られた地域で企画が実現しました。カフェでは、相続関連の相談ができたり、体操ワークショップがあるなどNPOの特性を活かしたサービスが盛り込まれています。（カフェは現在も開催中！）

たくさんの人と出会う・活動を見せる

NPO・ボランティアをはじめ、企業や行政、大学、地域、そして市民に向けて活動をPRする場もあります。10月30日から3日間、市役所ロビーにて開催する予定の「Good Activity Festival」では、多くの来場者に活動を紹介しながら、さまざまな主体との出会い・交流できる機会ともなります。今後、参加希望団体を募集しますので、ふるってご参加ください。

交流会などのスケジュール

災害ボランティア養成講座・交流会
H27年5月19日（火）19:00～21:30　終了

新規登録団体向け「出会う・つながる交流会」
H27年6月17日（水）19:00～20:30

企業向け「新しいCSR交流会」
H27年7月開催予定

Good Activity Festival
H27年10月30日（金）～11月1日（日）

※詳細は窓口やホームページでご確認ください。

01

02

ASUMIN MUSEUM

あすみん美術館

アートを通して
人と人のつながりを生み出したい。
発表の場、コミュニケーションの機会となる
誌面ギャラリーです。

作品タイトル／作者

「クジャク・きのこ・コブラ」

西原隆善さん（にしはら・たかよし）

【作者コメント】「折り紙作品のデザインはすぐに決まったけど、組み立てるのが大変でした。木の立体額縁は家具職人の小池先生に教えてもらいながら一緒に作りました。透明の板をはめるところと小さい釘を打つところが大変でした。」

NEW ORGANIZATION

新規登録団体

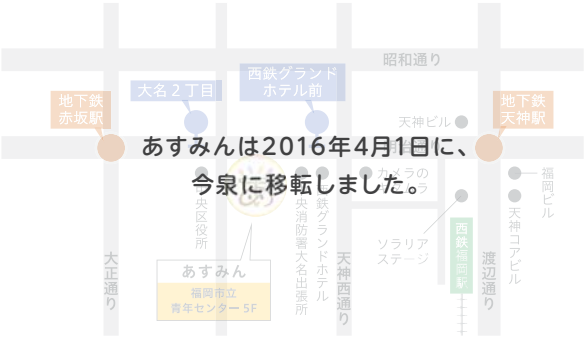
あすみんに新たにご登録いただいた
NPO・ボランティア等の
団体を掲載します。
（2014.10〜2015.3）

●はたらく女性応援プロジェクトin福岡 ●特定非営利活動法人夢・大アジア ●一般財団法人社会福祉エステティック推進協会 ●インターユースふくおか（IYF） ●城南区グループいつ美 ●国際ソロプチミスト福岡-第2クラブ ●ベルアカデミー福岡（NPOコミュニオン） ●NPO法人九州元気魂 ●大濠公園ブラインドランナーズクラブ ●NPO法人がんを学ぶ青葉の会 ●九州学生平和委員会 ●Art Brut Fukuoka Japan ●FCL井戸端会議 ●NPO法人福博相伝の会 ●博多女子道 ●自然体験活動 ima-project ●環境たくみの会 ●ALL FOR CHILDREN プロジェクト ●チェックウォーリア ●ふくおか総合法務グループ ●社会問題解決推進機構 ●Remember 3.11 九州フラガールキャラバン ●大名テーマパーク ●城南NEWS倶楽部 ●一般社団法人福岡県行政書士交通事故業務研究会 ●ハワイシニアライフ協会福岡支部 ●福岡ライフセービングクラブ ●福岡HERO製作委員会 ●南北コリアと福岡のともだち展実行委員会 ●暮らしの智恵袋 ●特定非営利活動法人Wing-Wing ●文学フリマ福岡事務局 ●特定非営利活動法人エスタスカーサ ●非営利共育団体アルカ ●NPO法人ママの働き方応援隊 九州校 ●中央図書館おはなし会 ●NPO法人全国相続無料相談会開催事務局 ●ルルル・紙芝居の会 ●terra cafe kenpou ●特定非営利活動法人国際青少年連合（IYF） ●東アジアの古代史を楽しむ会 ●Career Crescendo ●福岡県郷友連盟 ●一般社団法人福岡県中国帰国者自立促進協議会 九州中国帰国者支援・交流センター

※団体の詳細な活動内容などについては、あすみんHPで検索ができます。　（登録順・44団体）

福岡市NPO・ボランティア交流センター **あすみん**

【住　所】あすみんは2016年4月1日に、今泉に移転しました。
【TEL】092-724-4801　【FAX】092-724-4901
【MAIL】info@fnvc.jp　【HP】http://www.fnvc.jp
【開館時間】月〜土曜 10:00 〜 22:00　日曜・祝日 10:00 〜 18:00
【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日〜翌1月3日



FREE FUKUOKA CITY Wi-Fi

お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合　●地下鉄空港線「天神駅」徒歩約4分　●地下鉄空港線「赤坂駅」徒歩約6分
- バスをご利用の場合　●西鉄バス「西鉄グランドホテル前」徒歩約1分　●西鉄バス「大名2丁目」徒歩約2分
- 電車をご利用の場合　●西鉄電車「西鉄福岡駅」徒歩5分